

学位論文審査の結果の要旨

平成 28 年 12 月 20 日

審査委員	主査	岡田 純基		
	副主査	木下 啓之		
	副主査	宮武 伸行		
願出者	専攻	分子情報制御医学	部門	分子神経機能学
	学籍番号	13D751	氏名	横山勝教
論文題目	Effort-reward Imbalance and Low Back Pain among Eldercare Workers in Nursing Homes: A Cross-sectional Study in Kagawa Prefecture, Japan			
学位論文の審査結果	<input checked="" type="radio"/> 合格	<input type="radio"/> 不合格	(該当するものを○で囲むこと。)	
<p>[要 旨]</p> <p>論文内容</p> <p>背景：社会福祉施設で勤務する介護労働者の労働災害の腰痛は過去10年で2倍以上に増加している。急速な高齢化が起きている日本において、介護労働者の増加する腰痛問題の詳細かつ包括的な理解は重要である。先行研究から、医療機関で勤務する労働者の腰痛は患者の移乗を含む身体的な労働負荷だけでなく職業性ストレスが関連していることが分かっている。しかしながら、介護施設で勤務している介護労働者を対象とした、職業性ストレスと腰痛に関する研究はあまりない。</p> <p>目的：介護施設で勤務している介護労働者の努力-報酬不均衡モデル職業性ストレス（ERI）を明らかにし、そのERIと腰痛の関連を調べる。</p> <p>方法：2013年に、香川県にある79の介護老人福祉施設のうちランダムに選択した18（23％）の施設に549部の質問紙を配布した。回答が得られた467名の適格者のうち、342名（73％）を解析した。</p> <p>結果：342名のうち、調査時に腰痛があると回答したのは215名（63％）で、291名（85％）は努力報酬得点比が1より高く、重大な「高努力/低報酬状態」であった。多変量ロジスティック回帰分析で交絡因子を調整すると、ERIが高い介護労働者は、ERIが低い労働者と比べて、腰痛のリスクが高かった（オッズ比1.96, 95%信頼区間1.02-3.77）。</p>				

考察：我々の知っている限りでは、この研究は介護施設で勤務している介護労働者のERIを明らかにした初めての研究である。今回調査した介護職員の平均の努力-報酬不均衡モデル職業性ストレスは1.38で、過去の病院職員（医師、看護師等）を対象にした研究で示された職業性ストレスが0.7-1.0と比べて、現在の介護職員の職業性ストレスは非常に高いことが分かった。また、63%と多数の回答者が調査時点で腰痛を持っていた。高いERIや心理的苦痛が独立してその腰痛に関連していることはこれまでの報告と一致した。

結論：多くの介護労働者が高いERIを有しており、その腰痛と関連がある。努力-報酬不均衡のバランスを改善することが介護施設で勤務する介護労働者の腰痛問題を改善する重要な因子であるかもしれない。

審査

本研究に関する学位論文審査委員会は平成28年12月20日に行われた。

本研究は介護労働者の腰痛に関して高い職業性ストレスが関連していることを指摘したもので、結果に対する十分な考察もなされている。本研究で得られた成果はこの分野の初めてのもので意義があり、学術的価値が高い。

審査においては

1. 努力-報酬比が非常に高い結果であった理由として推測できることは何か
2. 回収率が高めることができたことと郵送ではなく直接訪問したことに関係があるか
3. 腰痛の有無が自己申告であり、信頼性は十分といえるか
4. 高い努力-報酬比は具体的に何を意味するか、どれくらいの報酬が適当か
5. メンタルサポートは具体的にどのような対策が可能か
6. 香川県に特有な理由はあったか
7. 腰痛の程度と努力-報酬比の関連についても解析したほうが良かったのではないか
8. 努力-報酬比の平均値では差がでなかったのはなぜか
9. ストレスの具体的な内容はなにか
10. ストレスによる生体反応で腰痛がおこるメカニズムは解明されているのか

などについて多数の質問が行われた。申請者はいずれにも明確に応答し、医学博士の学位授与に値する十分な見識と能力を有することが認められた。

委員会の合議により、本論文は博士（医学）の学位論文に十分値するものと判定した。

掲 載 誌 名	Journal of Occupational Health 第 56巻, 第 3号.		
(公表予定) 掲 載 年 月	2014年 5月	出版社(等)名	Japan Society for Occupational Health

(備考) 要旨は、1, 500字以内にまとめてください。